

 TSURUGA SHARE CYCLE つるがシェアサイクル

<https://tsuruga-share-cycle.jp/>
 ☎ 0770-20-0689 (受付時間8:00～19:00)
 つるがシェアサイクル事務局
 (敦賀駅交流施設オルパーク総合案内所)

TEL 0770-22-8167
TEL 0770-21-8686
TEL 0770-22-8128

敦賀城主
大谷吉継と
その時代

おおたに ぎょうぶのしょう よしつぐ

関ヶ原合戦図屏風／右隻（敦賀市立博物館蔵）

信長が浅井長政の裏切りをいち早く知り、窮地を脱することができたのは、お市の方が、両端をひもで結んだ小豆袋を、信長の元へ送り、袋のねずみとなることを暗示して知らせたからだとする逸話も残っています。また撤退の際、秀吉は殿（しんがり）を務め、その信を受け、のちに天下取りの道歩きました。



織田信長軍
第一次越前朝倉攻め
進路及び退路図



じょうぐうじんじや

常宮神社

神功皇后がここで安産祈願し、皇子の応神天皇が無事出産したとの逸話があり、安産の神様として崇められています。吉継が第1次朝鮮出兵（文禄の役）において持ち帰り、秀吉の命によって奉納されたと伝わる「朝鮮鐘」（国宝）が残されています。



☎ 0770-26-1040
📍 敦賀市常宮 13-16

西福寺

応安元年（1368）に良如上人が開いた浄土宗鎮西派の中本山。1400坪にも及ぶ書院庭園は国の名勝に指定されています。朝倉義景や織田信長、大谷吉継など、敦賀を治めた歴代の武将たちの書状が数多く残っています。



大谷吉継書状（年不詳12月11日）西福寺所蔵病に冒された西福寺住職に医者の手配を申し出る書状。吉継の心配りが感じられます。

☎ 0770-22-3926
📍 敦賀市原 13-7
🕒 9:00～17:00
👤 大人 300円 / 中学生以下無料（団体 30名以上 250円）

様々な戦の舞台となった金ヶ崎、大谷吉継が治めた敦賀のまち――

戦国武将たちが踏みしめた大地、空間がここにあります。

戦の舞台やゆかりの地を巡り、戦国の世に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

歴史を訪ねて 敦賀をぶらり



敦賀城主
大谷吉継
敦賀市公設キャラクター
よっしー

常宮神社方面



常宮神社拝殿より敦賀湾を望む



あつ！
こんなところに
ハトが。

八幡神社

☎ 0770-22-1193
📍 敦賀市三島町 1-3-3
🕒 9:00～16:00



敦賀城内にあったと伝えられる龍の欄間飾りや礎石、鬼瓦、大谷吉継が寄進した石燈籠など、さまざまな歴史的遺産が残されています。また、信長が奉納したと伝えられる太刀も現存しています。



永建寺

敦賀城築城にあたって現在の地に移転しました。移転にあたって吉継が寺領を安堵した書状が残されています。

☎ 0770-22-0465
📍 敦賀市松島町 9-5



気比の松原海水浴場

気比の松原

日本三大松原

足壇城跡

朝倉家の家臣である足壇対馬守久保が文明年間（1469～1487）に築いた城で、越前最南端を守る重要な拠点でした。天正元年（1573）、信長による越前攻めの最中に攻められ、その後破却されました。

📍 敦賀市足田

玄蕃尾城跡

福井と滋賀の県境、中尾山（標高439m）の山上にあります。天正11年（1583）、柴田勝家により築城されたとわれています。勝家は賤ヶ岳の戦いの際、本陣を構えました。横堀や土塁など、往時の遺構がいまも残っています。

📍 敦賀市刀根（中尾山）



来迎寺

敦賀城から移築したと伝わる中門や、城の御殿にあったといわれる木製 加飾腰高障子（県文化財指定）など、幻の敦賀城の華やかな面影を感じさせる歴史的遺産が残っています。

☎ 0770-22-0654
📍 敦賀市松島町 2-5-32

敦賀城三の丸跡



つるがじょうさんのまるあと



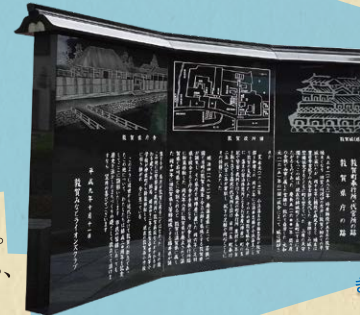
真願寺

敦賀城の乾門跡に建てられた真願寺。境内に城の礎石が残り、在りし日の敦賀城をしのべます。

☎ 0770-22-1860
📍 敦賀市結城町 14-1

敦賀城案内碑

蜂屋頼隆によって築城が始まった敦賀城は、大谷吉継によって完成したと考えられています。元和2年に一国一城令により、廃城されたのち、奉行所、県庁舎（旧・敦賀県）、警察所・裁判所・病院、尋常小学校（現西小学校）と変遷しました。



つるがじょうあんないひ

妙顕寺

織田軍による朝倉氏攻めの折、金ヶ崎城・天筒山城での戦いの後、信長はここ妙顕寺に朝倉氏の本拠地一乗谷を攻めるための本陣を張りました。

☎ 0770-22-1342
📍 敦賀市元町 9-18

金ヶ崎城跡



かねがきじょうせき

金ヶ崎城跡

“守るに易く、攻めるに難い”金ヶ崎はいにしえより交通の要衝でした。金ヶ崎城での戦いの後に信長は越前に攻め込んだとした時、同盟関係にあった浅井長政の離反により撤退を余儀なくされ、かろうじて京へ逃げ帰りました。

📍 敦賀市金ヶ崎町

みなとつるが山車会館

織田信長も見物したといわれる絢爛豪華な山車を展示しています。入口では吉継の武者人形が迎えられます。別館には吉継の特集コーナーがあります。

☎ 0770-21-5570
📍 敦賀市相生町 7-6
🕒 10:00～17:00
📅 月（祝日の場合はその翌日）／祝日の翌平日
年末年始、山車メンテナンスにあたる週（9月中旬）
👤 大人 300円 / 高校生以下無料（敦賀市立博物館との共通券 500円）
※家庭の日（毎月第3日曜日）は無料



氣比神宮

大宝2年（702）の建立と伝えられている、北陸道の総鎮守。織田信長の越前朝倉攻めにより氣比神宮は灰燼に帰し、社僧離散、社領没収、祭祀廃絶するまでに至りましたが、慶長19年（1614）に越前福井藩藩主によって社殿造営。社家復興となりました。平成28年（2016）には氣比神宮境内が名勝「おくのほそ道の風景地（けいの明神（氣比神宮境内）」に指定されました。また、令和3年（2021）に「氣比神宮にのぼる月」が日本百 monthly に登録されました。



つるがしりつはくぶつかん

敦賀市立博物館

旧大和田銀行本店建物（重要文化財）を活用した博物館です。本パンフレット表紙「関ヶ原合戦図屏風」等を所蔵。レトロで趣ある建物と共に、年1回の特別展をはじめ、敦賀の豊かな歴史文化を物語る資料や美術工芸作品などを順次展示替えし、その時々々の展示をお楽しみいただけます。

☎ 0770-25-7033
📍 敦賀市相生町 7-8
🕒 10:00～17:00
📅 月（祝日の場合はその翌日）／祝日の翌平日 / 年末年始
👤 大人 300円 / 高校生以下無料（みなとつるが山車会館との共通券 500円）
※家庭の日（毎月第3日曜日）は無料

1～10 つるがシェアサイクルポート